

米子市男女共同参画推進計画施策の実施状況一覧

(令和4年度分)

米子市総合政策部男女共同参画推進課

米子市男女共同参画推進計画施策の実施状況の評価について

評価の方法は、下記の計画の評価基準を基に評価しています。

計画の評価基準

評 価	内 容	判 断 基 準	令和4年度集計	コロナの影響
A	計画通り事業が実施でき、十分に成果があった	計画の記載の内容のとおり、またはそれ以上の施策が実施でき、計画に記載されている目標を達成し、男女共同参画推進の効果が十分期待できる。	27	
B	ある程度の事業が実施でき、一応の成果があった	すべてではないが施策が実施され、計画に記載されている目標がある程度達成され、男女共同参画推進の効果が期待できる。	51	23
C	十分な事業が実施できず、あまり成果がなかった	何らかの施策が実施されているが、計画に記載されている目標は達成せず、男女共同参画推進の効果が期待できるとはいえない。	2	
D	未実施	実施できなかった。		
—	取組無く評価無し	現在取組がなくなった。該当がない。	2	

第3次米子市男女共同参画推進計画体系

計画の
目 標

一人ひとりが自分らしく
個性と能力を發揮できるまち

基本テーマ	重点目標	基本施策
I 男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり	1 様々な分野での男女共同参画の意識啓発	1 一般市民啓発
		2 行政職員の人材育成
		3 国際交流の推進
	2 子どもたちに対する教育現場等での取組	4 保育所・幼稚園等、小・中学校での取組
		5 青少年教育の充実
		6 教職員、PTA等に対する研修の充実
3 政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	7 審議会等での参画の推進	
	8 女性の人材育成	
II 誰もが健康で安心して暮らせる社会づくり	1 支援を必要としている人に対する環境整備	9 高齢者への支援
		10 障がい者への支援
		11 外国人居住者への支援
		12 ひとり親家庭への支援
	2 男女間のあらゆる暴力の根絶	13 DV被害者への支援及び防止啓発
		14 職場等におけるハラスメント対策
		15 健康の保持増進に関する支援
	3 生涯にわたる男女の健康支援	16 妊娠・出産に関わる健康支援
		17 学校教育における健康学習
18 家事・育児への男性の参画推進		
III あらゆる分野における男女共同参画の推進	1 家庭における男女共同参画の推進	19 子育て支援、保育サービスの充実
		20 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
	2 職場における男女共同参画の推進	21 男性の育児休業取得促進
		22 女性の経営参画推進及び起業・再就職支援
		23 地域活動・まちづくり等における参画
	3 地域における男女共同参画の推進	24 防災・復興分野における参画

基本テーマⅠ 男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり

重点目標1 様々な分野での男女共同参画の意識啓発

基本施策	具体的な取組	令和4年度実施状況	評価	コロナの影響	評価の説明、今後の方向性等
1 一般市民啓発	○米子市男女共同参画センターを男女共同参画のための拠点として、講座・イベントの開催や情報と学習機会の提供を行う	<p>【男女共同参画推進課】</p> <p>○各種講演会、講座等を開催</p> <p>・男女共同参画に関する講演会(3回)</p> <p>第1回 ワーク・ライフ・バランス講座「好きな事で稼ぐ」 ～多様な働き方で豊かな暮らし～ 副業・複業・起業のすすめ 講 師 つのだ さちこ さん (Schubbladeシュプラーデ 代表) 長田 朱里 さん(株式会社デブウォームズ 代表取締役) 参加人数 17人(会場9人、オンライン8人)</p> <p>第2回 自治会長研修 多様な人材が参画できる地域づくり 講 師 柏木 登起さん(一般財団法人明石コミュニティ創造協会 常務理事兼事務局長) 参加人数 71人</p> <p>第3回 コミュニケーション講座 大人のための「自分も相手も大切に伝える伝え方」の話 講 師 竹田伸也さん((鳥取大学医学部 教授) 参加人数 21人 倉吉交流プラザおよびオンライン参加 米子市役所第2庁舎2階会議室をサテライト会場として開催</p> <p>○米子市男女共同参画センターに、男女共同参画の啓発誌等を配置し情報提供。 登録団体向け情報紙「かぶりあだより」の発行 8回</p> <p>○中央隣保館の料理教室で家事チェックリスト「おとう飯」啓発チラシを配布。 「富士見男ック教室」 参加人数 10人</p> <p>○「第19回かぶりあ祭」 男女共同参画センター利用登録団体のイベント「かぶりあ祭」 米子市男女共同参画センター利用登録団体活動発表、 活動紹介展示、フリーマーケット 神 英雄 さん 講演会「万葉の歌にこめられた家族・友人への思い」</p> <p>※ 年度の始めはコロナ禍であったため、登録団体アンケートで意見を尊重しながら調整 ※ 実行委員会を集めず、登録団体有志2名、コーディネーター5名と市とで実動</p>	A		他課事業と連携して、講演会、イベント等を開催することにより、地域や社会に広く男女共同参画の啓発を行うことができた。 また、講演会や講座等の参加者からは満足した、有意義だったという感想を数多くいただくなど、男女共同参画に関する意識の醸成を図ることができた。 講座の開催においては、ハイブリット方式を取り入れたり、県等と連携するなど多様な方法を試みていきたい。 「かぶりあだより」の発行回数も昨年より増え、今後も情報発信や啓発に努める。 かぶりあ祭を数年ぶりに開催することができ、令和5年度は実行委員会を設けて、20周年開催に向けて取り組んでいく。

基本テーマⅠ 男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり

重点目標1 様々な分野での男女共同参画の意識啓発

基本施策	具体的な取組	令和4年度実施状況	評価	コロナの影響	評価の説明、今後の方向性等
1 一般市民啓発	<p>○男女共同参画に関する標語などを募集し、広報よなご等に掲載する</p> <p>○関係機関が主催する各種講演会・研修会等への参加、協力、情報提供等を行う</p> <p>○人権学習講座、隣保館講座などで男女共同参画に関する講座等を行う</p> <p>○自治会単位で開催される人権教育地域懇談会において、男女共同参画について学習する機会を設ける</p> <p>○性的マイノリティについて正しい理解と認識が得られるよう啓発を推進する</p> <p>○広報よなごに男女共同参画に関する記事を掲載する</p> <p>○生涯学習講座や公民館での社会教育講座において、男女共同参画の視点を盛り込んだ講座を開催する</p>	<p>男女共同参画推進課</p> <p>○男女共同参画に関する標語・絵てがみを一般市民に対して募集 応募数:市内外から計 172点、標語 145点、絵てがみ27点 米子市男女共同参画センターに掲示、広報よなごやごみ分別収集カレンダーに掲載 男女共同参画週間パネル展において展示</p> <p>○男女共同参画週間パネル展を実施した。 ・米子市立図書館 令和4年6月15日～28日</p> <p>○他団体主催の研修会等の情報提供及び参加 ・日本女性会議2022 鳥取くらよし ・よりん彩学びのサロン ・よりん彩記念日フォーラム2022 ・米子市女性大会 ・全国女性団体連絡協議会中国ブロック会議・鳥取県婦人大会 ・県、県男女共同参画センター、独立行政法人国立女性教育会館(NWEC)等主催講座</p>	A		<p>標語等については、応募数も増え、一般市民等に対して男女共同参画の意識を喚起することができた。</p> <p>また、標語等をごみ分別収集カレンダーに掲載することにより、家庭での日常的な啓発を行うことができた。</p> <p>引き続き、様々な形で男女共同参画の啓発、男女共同参画週間の周知に努める。</p> <p>他団体主催の研修会等の情報提供等はオンライン参加が可能な会も増えており、今後も紹介し参加を呼びかける。</p>
		<p>【人権政策課】 〈男女共同参画〉</p> <p>○「広報よなご」による男女共同参画に関する啓発 1回(10月号)</p> <p>○人権教育地域懇談会で男女共同参画をテーマとして取り扱った回数(DVD視聴・講演) 6回 参加者数126名</p> <p>〈性的マイノリティ〉</p> <p>○第48回米子市人権・同和教育研究集会講演 参加者310名 講師:弁護士 仲岡 しゅんさん 演題:LGBTとジェンダーレス・セクシュアリティをめぐる人権課題</p> <p>○人権教育地域懇談会で性的マイノリティをテーマとして取り扱った回数(DVD視聴) 2回 参加者数33名</p> <p>○LGBTQコミュニティスペースの実施</p> <p>○性的マイノリティ、セクシャルハラスメント等の啓発DVDを購入し貸出</p> <p>○LGBTQに関する啓発パネルの貸出 本庁舎での展示</p> <p>〈人権講座〉</p> <p>○中央隣保館ワクワク人権講座 (啓成公民館大学・啓成がくゆう会、啓成地区人権・同和教育推進協議会共催) 参加者 56名 講師:山田 晋さん(元鳥取県男女共同参画審議会委員) 演題:女性と男性～これは差別? 区別?～</p> <p>〈その他 啓発〉</p> <p>○アウェアネスリボンに関する啓発パネルの貸出 本庁舎での展示</p> <p>○春の人権ギャラリーの開催 市立図書館 テーマ:多様性ってなんだ?</p>	B		<p>地域住民を対象とした人権教育地域懇談会は、新型コロナウイルス感染防止のためDVD視聴等限られた内容での開催となった。広報紙などの啓発は計画通り実施できた。</p> <p>性の多様性に関する啓発については、多くの市民の理解が深まるよう、今後も力を入れていく課題だと捉えている。</p>
		<p>【生涯学習課】⇒【地域振興課】</p> <p>○公民館の学習講座等で男女共同参画の視点を盛り込んだ講座を実施した。 令和4年度実施状況 公民館 3講座実施</p> <p>○公民館での社会教育講座については、人権問題(男女共同参画を含む)と子育て等の家庭教育に関する講座を必ず実施することとしている。</p>	B	○	<p>公民館の学習講座等で、男女共同参画をテーマとする講座を実施した。</p> <p>公民館では、引き続き男女共同参画も含めた人権に係る講座を各館で実施していく。</p>

基本テーマⅠ 男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり

重点目標1 様々な分野での男女共同参画の意識啓発

基本施策	具体的な取組	令和4年度実施状況	評価	コロナの影響	評価の説明、今後の方向性等
2 行政職員の人材育成	<p>○高い人権意識と男女共同参画の意識を持ち、市民の立場に立って仕事ができる職員の人材育成に努める</p> <p>○職員研修において、男女共同参画に関する研修を開催する</p> <p>○人権行政推進者養成講座を行い、米子市人権行政において推進的立場となる職員を養成する</p> <p>○人権教育地域懇談会助言者養成講座を開催する</p>	<p>【職員課】</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策のため、全職員対象(人権問題研修特別講座等を受講した者を除く)のレポート提出による人権問題研修を実施し、高い人権意識を持ち、あらゆる施策に人権を尊重し擁護するという視点に立った職務の遂行ができる職員を育成するために研修を実施した。また、指名した担当課長補佐級を対象に人権問題研修特別講座(フィールドワーク研修)を実施した。</p> <p>【研修実績】</p> <p>■受講者数 レポート提出534名、フィールドワーク参加12名</p> <p>■内 容 レポート提出「性的マイノリティの人権について」 フィールドワーク(隣保館)「地区の歴史、差別事象・実態について」</p> <p>○人権行政推進者養成講座を実施し、自らが人権行政の担い手であることを自覚し、職場における指導的立場として主体的に取り組んでいく力をもつ職員を育成するために研修を実施した。</p> <p>【研修実績】受講者数 32名</p>	B	○	<p>人権問題研修については、毎年全職員が必ず受講することにしており、幅広い人権問題について、計画的、体系的な研修を実施している。</p> <p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため動画配信によるレポート提出での研修を行いながら、徐々に集合形式での研修も実施した。様々な研修実施方法があるが、高い人権意識を持つ職員の人材育成に向けて、継続して研修を実施できるよう取り組んでいく。</p>
		<p>【男女共同参画推進課】</p> <p>○米子市男女共同参画センター”かぶりあ”職員の研修等を実施した。</p> <p>・日本女性会議2022 in鳥取くらしよしに参加</p> <p>○担当課において</p> <p>・日本女性会議2022in鳥取くらしよしに参加</p> <p>・地域における男女共同参画推進リーダー研修(リモート)研修に参加</p> <p>・ジェンダーバイアス解消セミナー</p> <p>・健康から考える女性活躍～知っておきたい女性の健康事業～について</p> <p>・市内教職員対象講座に職員を派遣(1回)</p>	A		<p>行政職員等を対象とした男女共同参画の視点に立って地域が抱える課題解決のための研修を受講し、知識やスキルアップを図った。</p> <p>引き続き、関係機関が実施する事業に参加協力していく。またオンラインで開催される講演会等も増えており、情報提供を行っていく。</p>
		<p>【人権政策課】</p> <p>○新任課長(課長級含む)を対象に、人権教育地域懇談会の助言者として必要な知識などについて理解を深めることを目的として、助言者養成講座を開催</p> <p>対象者13名</p>	A		<p>計画どおり実施し、助言者の人材育成を図った。</p>

基本テーマⅠ 男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり

重点目標1 様々な分野での男女共同参画の意識啓発

基本施策		具体的な取組	令和4年度実施状況	評価	コロナの影響	評価の説明、今後の方向性等
3	国際交流の推進	<p>○学校の授業において、外国の生活・文化等に親しむ機会を持つ</p> <p>○小・中学校や公民館等で国際理解講座を開催する</p> <p>○市民向けに外国語講座を開催する</p> <p>○友好都市、姉妹都市との交流事業を推進する</p> <p>○国際交流に関する講座・イベントの開催、および他団体等主催の国際交流イベントの紹介、情報提供等を行う</p>	<p>【学校教育課】</p> <p>○総合的な学習の時間や社会科を中心とした国際理解に関する学習の充実</p> <p>○外国人ゲストティーチャー(外部講師)の協力/7校</p> <p>○外国語活動・英語科を通じた言語や異文化理解に関する学習の充実</p> <p>○在日コリアン・渡日外国人に関する学習/18校</p>	A		学校では、コロナ禍で外部から人を招くことが難しい中、米子市国際交流員や日本語指導支援員を講師として招き、国際理解に関わる学習を行っている。
			<p>まちづくり企画課</p> <p>○国際交流員を小学校、公民館、各種団体に派遣して、国際理解講座や料理講習等を実施した。(343名)</p> <p>○市民向け韓国語・韓国文化講座を開催した。(115名)</p> <p>○国際児童絵画・作品展を開催して保定市及び東草市の児童の作品を展示したほか、東草市・保定市で開催された児童絵画展に米子の児童絵画を出展した。</p> <p>○ラジオ番組において、国際交流員が母国(韓国)の情報を紹介した。</p> <p>○国際交流フェスティバルを開催した。(1,300名)</p>	B	○	異なる国の言語、文化、生活様式等を紹介することで市民の興味を喚起し、国際交流への意識の醸成を図った。 国際感覚を持った人材の育成に寄与しており、男女共同参画の推進の一助として今後も継続したい。
			<p>【生涯学習課】⇒【地域振興課】</p> <p>○公民館の学習講座等等で国際理解の視点を盛り込んだ講座を実施した。</p> <p>令和4年度実施状況 公民館 14講座【生涯学習課】</p>	B	○	公民館14館で国際理解講座を開催した。(令和3年度実績 13講座) 公民館では、引き続き国際理解に関する人権や社会問題を題材とする講座を実施していく。

基本テーマⅠ 男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり

重点目標2 子どもたちに対する教育現場等での取組

基本施策		具体的な取組	令和4年度実施状況	評価	コロナの影響	評価の説明、今後の方向性等
4	保育所・幼稚園等、小・中学校での取組	<p>○保育所等で、男女の序列のない男女平等意識を育てる保育・教育を推進する</p> <p>○米子市人権教育推進プランに基づく男女共生に関する教育を行う</p> <p>○生活科、家庭科、学級活動、道徳の時間等で、家庭での仕事などについて話し合う</p> <p>○中学生が職場体験学習において、様々な仕事を体験し、その中で保育所・幼稚園等での保育実習において乳幼児と触れ合う体験をする</p> <p>○小学校等において男女共同参画に関する意識啓発を図る</p>	<p>【こども施設課】</p> <p>○男女混合名簿100%実施済</p> <p>○男女の序列、区分をなくした保育の実施</p>	A		目標を達成し、男女混合名簿・男女序列、区分をなくした保育を実施しており、男女共同参画推進の効果が期待できる。
			<p>【学校教育課】</p> <p>○性別による固定観念を見直す学習/30校</p> <p>○中学生職場体験学習における保育所、幼稚園での保育実習(新型コロナウイルス感染防止のため中止)</p>	A	多くの学校で男女共生教育や男女共同参画についての学習を取り入れており、学校における取組は進んでいる。	
			<p>【男女共同参画推進課】</p> <p>○小学校の人権学習において、男女共同参画に関する講演を行った。 小学校 1校</p> <p>○センターにて学校の訪問(2回)を受け入れ</p>	B	今後も学校からの要望を聞き、職員派遣または外部講師紹介を行っていく。	
5	青少年教育の充実	<p>○青少年の健全育成のために、少年育成センターや青少年育成米子市民会議の活動の充実を図る</p> <p>○子ども会の活動や世代間の交流等を支援する</p> <p>○新成人を中心に実行委員会を組織し、男女が共に成人式の運営を行う また政治参加意識を高めるため、成人式参加者に選挙に関するリーフレットを配布する</p> <p>○「社会を明るくする運動」で少年育成野球大会を開催する</p>	<p>【こども政策課】</p> <p>○米子市少年育成センター 少年指導委員を218名委嘱し、街頭指導により直接少年の指導に当たっている。 少年指導委員代表者を毎月開催し、学校、教育委員会及び米子警察署等と連携。</p> <p>○青少年育成米子市民会議 63の団体で組織 総会(書面開催)及び運営委員会(3回)の開催。 一体となって青少年健全育成運動を展開。 青少年育成鳥取県民会議と連携、各種事業を実施。</p> <p>○子ども会 米子市子ども会連合会の事務局を担当、事業の実施支援と研修機会の充実に取り組んでいる。</p>	B	○	コロナ禍のため、一部の会合や活動を中止、あるいは縮小して実施したが、青少年の健全育成のために関係機関と一体となって、活動を行うことができた。
			<p>【生涯学習課】</p> <p>令和5年1月3日に開催した「令和5年二十歳を祝う会」では、実行委員会の組織には至らなかったが、参加者に対して選挙に関するリーフレットの配布を行い、政治参加意識の向上を図った。 ・会場 米子コンベンションセンター ・参加者数 1,008人</p>	C	令和4年度は実行委員会を組織することができなかったが、今年度は早期に募集を行うなど周知を徹底し、男女バランスよく配置された実行委員会の組織に努める。また選挙に関するリーフレットについては、ペーパーレス化を進めるため、市ホームページに二十歳を祝う会参加者用の広報特集ページを作成し周知に努める。	
			<p>【人権政策課】</p> <p>令和元年度から猛暑など諸事情により少年育成野球大会の開催を中止した。</p>	—		関係団体と協議の結果、今後も開催の予定なし。

基本テーマⅠ 男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり

重点目標2 子どもたちに対する教育現場等での取組

基本施策	具体的な取組	令和4年度実施状況	評価	コロナの影響	評価の説明、今後の方向性等
6 教職員、PTA等に対する研修の充実	<p>○学校教職員は男女共同参画に関する研修を受講し、指導者としての意識を高める</p> <p>○人権教育参観日を開催し、子どもと保護者が共に人権に関する学習をする</p> <p>○小・中学校において、保護者等を対象にPTA子育て講座を行う</p> <p>○保育所等の職員・教員、PTAは人権保育研修や男女共同参画に関する研修等を受講する</p> <p>○小・中学校、地域、PTA等が連携し、合同人権教育研修会や人権講演会を開催する</p>	<p>【学校教育課】</p> <p>○教職員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校人権教育研修講座/1回/11名 講師:舟木 あゆみ (米子市男女共同参画推進課) <p>○小・中学校における人権教育参観日の実施</p>	A		<p>教職員研修では、男女共同参画推進課が行っている授業プログラムを実際に体験しながら、男女共同参画の現状や子どもたちへの学習の進め方について研修を行った。人権教育参観日は、感染症対策を行い人数制限を行うなど工夫しながら実施している。</p>
		<p>【こども政策課】</p> <p>○市内の小中学校のPTAと連携し、家庭教育支援講座「PTA子育て講座」を開催(希望校のみ)。男女問わず家庭教育について学ぶ機会を提供した。</p> <p>○全国人権保育研修会(保育士)、鳥取県人権保育連絡会主催の研修会(保育士)、米子市人権・同和教育研究集会(保育士)、就学前部会研修(保育士及び保護者)を受講した。</p> <p>○各保育施設が、人権保育チェックリストを用いての研修、不適切保育の研修を園内で実施し、人権意識の向上を図った。</p>	B	○	<p>米子市人権・同和教育推進協議会を通して、各中学校区での幼保小の連携を取っている(総会、講演会、担当者会、研修会等)事により、地域での繋がり、縦の連携が定着しつつあり、人権感覚の育成等にも繋がっている。</p>
		<p>【こども施設課】</p> <p>○米子市人権・同和教育推進協議会、就学前教育部会において講演会を実施</p> <p>(保護者対象 年1回 職員対象 年1回)</p>	A		<p>米子市人権・同和教育推進協議会を通して、各中学校区での幼保小の連携を取っている(総会、講演会、担当者会、研修会等)事により、地域での繋がり、縦の連携が定着しつつあり、人権感覚の育成等にも繋がっている。</p>
		<p>【人権政策課】</p> <p>○米子市人権・同和教育推進協議会の就学前部会における人権研修 2回 (いずれもオンライン配信)</p> <p>「子どもの力を伸ばすかわり～笑顔あふれる子育てのために～」</p> <p>講師 こども相談課 (発達支援員) 日浦 香織 さん (家児室 室長)松竹 直樹 さん (心理士) 足立 みな美 さん</p> <p>「育ちと学びをつなぐ幼保小連携・接続のポイント」(ディスカッション)</p> <p>こども相談課 門脇 康裕さん 学校教育課 遠藤 幸子さん 幼保小接続アドバイザー 藤原 厚子さん 川上 さつきさん にしき幼稚園 河本 晴美さん 成実保育園 阿部 範子 さん</p>	B		<p>新型コロナウイルス感染防止のため、講演会・研修会の開催がオンライン配信のみとなるなど限られたものとなった。しかし、現場からはオンライン配信視聴の自由度が高評価だったため、今後も取り入れていきながら、開催したい。</p>

基本テーマⅠ 男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり

重点目標3 政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

基本施策	具体的な取組	令和4年度実施状況	評価	コロナの影響	評価の説明、今後の方向性等
7 審議会等での参画の推進	<p>○審議会、委員会等の委員の任命、委嘱に当たり女性の登用を促進し、政策・方針決定過程への女性の参画拡大に努める</p> <p>○各分野で活躍している女性を女性人材バンクに登録し、審議会等委員へ推薦することで、女性の能力が発揮される機会を提供する</p>	<p>【男女共同参画推進課】</p> <p>○米子市男女共同参画推進審議会 女性 8人、男性 7人</p> <p>○米子市女性人材バンクについて 令和5年3月末現在の登録者数 51人 うち、新規登録者数 10人 審議会等委員へ推薦 6人</p> <p>【職員課】</p> <p>・令和元年に制定した「審議会等への女性委員の登用推進方針」を再度徹底するよう、令和4年7月11日に各審議会等所管課へ通知した。</p> <p>・令和4年4月1日現在の組織・委員データを各審議会等所管課から収集し、女性委員名簿を作成、女性の登用状況と併せて周知している。</p> <p>※R4.4.1…33.2% ※R3.4.1…29.6% ※R2.4.1…28.0%</p>	A		<p>米子市男女共同参画推進審議会においては、引き続き男女比が均衡するよう努めたい。</p> <p>女性人材バンクについては、審議会等委員へ推薦を行うことで、人材バンク登録者の有効な活用を図ることができた。また、3次計画の最終年として女性人材バンクの登録者数の数値目標を達成できた。今後も新たな人材発掘に努めたい。</p>
8 女性の人材育成	<p>○女性団体が取り組む様々な活動を支援する</p> <p>○女性リーダー研修、女性の能力開発やスキルアップを図る講座等を開催し、また関係機関等主催のセミナー等への参加および情報提供等を行う</p> <p>○地域、政治、行政、教育等、様々な分野において、女性が意思決定の場に参画していくよう啓発する</p>	<p>【生涯学習課】</p> <p>○米子市連合婦人会総会の出席し、事業の把握や情報交換を行った。支援内容については、主に広報を行っており、「米子市女性大会」では、後援及び広報を行った。</p> <p>【男女共同参画推進課】</p> <p>○男女参画センター”かぶりあ”運営における団体利用により、団体活動を支援</p> <p>○ワーク・ライフ・バランスに関する講演会で副業・複業・起業を考えている方向けにも開催</p> <p>テーマ 「好きな事で稼ぐ」 ～多様な働き方で豊かな暮らし～ 副業・複業・起業のすすめ 講師 つのだ さちこ さん (Schubbladeシュプラーデ 代表) 長田 朱里 さん (株式会社デブウォームズ 代表取締役)</p> <p>○総合政策課主催講演会を米子市女性人材バンク登録者に案内した。 「働く女性のヘルスケア講演会～誰もが輝ける米子市を目指して～」 鳥取大学医学科器官制御外科学講座産科婦人科学分野 谷口 文紀 教授 (一般社団法人 日本女性医学学会 幹事)</p> <p>○企業等における女性活躍のメリットや県内企業の取組事例の情報提供を行った。</p> <p>○パンフレット設置による情報提供。</p>	B		<p>会への出席、名義後援や情報提供を通じて女性団体への支援を継続する。</p> <p>女性人材バンク登録者研修会及びスキルアップ講座を他企画と同時開催により実施。また、他課が企画した講座なども積極的に情報提供し充実させていきたい。</p>

基本テーマⅡ 誰もが健康で安心して暮らせる社会づくり

重点目標1 支援を必要としている人に対する環境整備

基本施策	具体的な取組	令和4年度実施状況	評価	コロナの影響	評価の説明、今後の方向性等
9 高齢者への支援	<p>○男性も介護に参加し、家族全体で介護について考えるよう意識啓発を行う また高齢者、介護問題等に関する研修会や介護教室等を開催する ○各種介護予防サービスを行う ○各種趣味の講座を開催し、教養やレクリエーションを通じて高齢者の心身の健康増進を図る ○認知症高齢者や一人暮らしの高齢者の権利を擁護するため、成年後見人制度の利用促進を図る ○高齢者実態調査を行い、高齢者世帯の生活・身体状況の把握に努める ○高齢者の交流の場である「ふれあい・いきいきサロン」や老人クラブの活動を支援する</p>	<p>【長寿社会課】 ○社会全体、家族全体で認知症や介護問題を理解するよう、啓発等を行った。 ・認知症サポーター養成講座の開催 21回 受講者数623人 ・関係機関と連携し、高齢者の抱える問題、介護問題等に関する講座を開催</p> <p>○各種介護予防サービスの実施 ・軽度生活援助事業 利用者数 114人 ・高齢者はり・灸マッサージ施術費助成事業 助成者数 24人 ・通所型運動機能向上事業 利用者数 314人(フレイル対策推進課実施分) (がいなみつく予防トレーニング) ・ふらっと運動体験 利用者数 3,696人(フレイル対策推進課実施分)</p> <p>○高齢者の心身の健康増進を図るため、趣味の講座やレクリエーション等を開催した。 ・趣味の教室(陶芸、木彫) ・老人福祉センター事業</p> <p>○認知症高齢者や一人暮らしの高齢者の権利を擁護するため、成年後見サポートセンターを運営し、成年後見制度の普及・啓発を図った。 相談件数 814件</p> <p>○民生児童委員と連携して、高齢者世帯の生活・身体状況の把握に努めた。</p> <p>○高齢者の交流の場である老人クラブの57クラブに活動助成費を支出した。</p> <p>【男女共同参画推進課】 ○「かぶりあ祭での米子市男女共同参画センターかぶりあ登録団体パネル展示」における啓発 ・男女共同参画センター登録団体の「認知症の人と家族の会鳥取県支部」の団体活動内容を紹介するパネル展示</p>	A		<p>計画に記載の各事業を着実に実施し、女性の介護負担の軽減、高齢者の心身の健康増進等目標達成に向けて効果があり、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう支援することができた。引き続き、高齢者がいきいきと健やかに、住み慣れた地域や自宅で安心して生活を続けられるよう、各事業に取り組む。</p> <p>米子市男女共同参画センター登録団体による展示を行った。認知症に関する啓発を行うとともに、団体の活動を広く周知することができた。</p>

基本テーマⅡ 誰もが健康で安心して暮らせる社会づくり

重点目標1 支援を必要としている人に対する環境整備

基本施策	具体的な取組	令和4年度実施状況	評価	コロナの影響	評価の説明、今後の方向性等
10 障がい者への支援	<p>○障がい者福祉サービスの提供および相談支援体制の充実を図る</p> <p>○障がい者支援施設への援助および施設に入所している障がい者の生活訓練、就労訓練等を支援する</p>	<p>【障がい者支援課】</p> <p>○障がい福祉サービスの提供および相談支援体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい福祉サービス利用者数 月平均2,762人 ・相談件数 〇件 ※実績確認中のため、後日報告します。 <p>○支援施設への援助および施設入所の障がい者の生活訓練・就労訓練等を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援について A型利用者数(障がい福祉サービス内数) 月平均106人 B型利用者数(障がい福祉サービス内数) 月平均672人 ※A型・・・雇用契約に基づく継続的な就労 B型・・・雇用契約は結ばない就労 <p>○障がい者同士、また一般の人との交流を図る催しを開催した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共にいきるアート展(開催日:R4.9.13~19) <p>○各種障がい者スポーツ大会へ助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクアスロン皆生大会(開催日:R4.10.10) 	B	○	<p>障がいのある方が安心して生活できるよう障がい福祉サービス提供体制の充実を図った。</p> <p>サービス等利用計画を作成する相談支援専門員の不足により、速やかなサービス利用に支障がでているため、対策を講じた。</p> <p>障がいのある方の社会参加として就労支援を行うとともに、障がい福祉施設からの優先調達に取組んだ。</p> <p>交流を図る催しとして、共にいきるアート展を開催した。</p> <p>障がい者スポーツ大会である、アクアスロン皆生大会への助成、支援を行った。</p>
	<p>○障がい者が生活しやすい環境整備を促進するため研修会等を開催する</p> <p>○障がい者同士、また一般の人との交流を図る催し等を開催する</p> <p>○障がい者の社会参加を図り、就労の機会を提供し、「福祉の店」などの活動を支援する</p> <p>○各種障がい者スポーツ大会への支援を行う</p> <p>○障がい者世帯に市営住宅を優先的に提供する</p>	<p>【人権政策課】</p> <p>○人権教育地域懇談会で障がい者をテーマとして取り扱った回数(DVD視聴) 10回 参加者数149名</p> <p>○啓発誌「心ゆたかに」で共生社会について啓発(8月号)</p> <p>○誰でも人権アカデミーの実施</p> <p>講師:植村 ゆかりさん(NPO法人地域支援センターおおぞら代表)</p> <p>演題:障がい者の人権について</p> <p>○米子の人権フォーラムの実施</p> <p>講師:内多 勝康さん(もみじの家ハウスマネージャー、元NHKアナウンサー)</p> <p>演題:もみじの家がめざす社会～医療的ケアがあっても安心して暮らしたい～</p>	B	○	<p>地域住民を対象とした人権教育地域懇談会は、新型コロナウイルス感染防止のためDVD視聴等限られた内容での開催となった。</p> <p>研修会、講演会は新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、対面で開催した。</p> <p>今後も対面形式、オンライン配信を融合しながら効果的な啓発を行っていく。</p>
		<p>【男女共同参画推進課】</p> <p>☆第4次男女共同参画推進計画の点字図書を作成し、県点字図書館、男女共同参画センター等設置した。</p>	B		<p>様々な方の意見等が反映できる。</p>
		<p>【住宅政策課】</p> <p>障がい者世帯または高齢者世帯が優先入居できるよう市営住宅の中から特定住居を指定し、供給した。・令和4年度実施 4戸</p>	B		<p>障がい者世帯の生活の安定を図ることができた。</p>

基本テーマⅡ 誰もが健康で安心して暮らせる社会づくり

重点目標1 支援を必要としている人に対する環境整備

基本施策	具体的な取組	令和4年度実施状況	評価	コロナの影響	評価の説明、今後の方向性等
11 外国人居住者への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○市役所窓口や小学校等で国際交流員等が通訳支援などを行う ○外国人の生活一般相談や日本語教室等を行っている(公財)鳥取県国際交流財団の紹介、情報提供等を行う ○隣保館等で識字・日本語教室や生活相談を行う ○日本語教育推進員等支援員が学校で外国人生徒への学習支援を行う ○外国人が安心して在住できるよう防災面での支援を行う ○母子健康手帳の外国語版を発行する ○外国人無年金者に対して高齢者特別給付金を支給する 	<p>【まちづくり企画課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公民館へ国際交流員を派遣して通訳などで外国人の活動参加を支援した。 ○外国人居住者に、諸手続きの支援や情報提供を行った。 ○外国人転入者に対して、市民課窓口で、外国人相談窓口等のチラシをまとめたファイルを配布した。 	B		今後も要望に応じて対応する。
		<p>【人権政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○隣保館事業の中で、結婚、就職などで米子市に住むようになった外国人が、一日でも早く日本の生活に慣れるために、日本語教室を行なっている。その際に、困りごとなどの相談も併せて行なっている。 ○隣保館において、外国の料理教室を通して、外国にルーツのある方との異文化交流を行なった。 	B	○	外国人が不安を解消し、安心して居住できるよう支援を行った。
		<p>【学校教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本語教育推進員、外国語支援員による学習支援 小8名、中2名 ○夏休み中の学習支援の実施/2名参加 ○多言語翻訳機 6台 	A		学校からの支援要請に対して、日本語教育推進員1名、外国語支援員7名の計8名で対応している。支援の必要な言語が多言語化していることから、多言語翻訳機を活用している。
		<p>【防災安全課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○英語版WEBハザードマップ ○避難所案内板を4箇所更新し、英語版WEBハザードマップのQRコードを掲示した。 ○多言語対応のあんしんトリピーメールナビ(鳥取県防災アプリ) 	B		外国人を対象とした防災講座等で周知していく。
		<p>【健康対策課】⇒【こども相談課】</p> <p>母子健康手帳の外国語版(英語、ベトナム語、タガログ語、中国語)を発行した。 発行実績:11件</p>	A		外国語を使用する妊婦が母子健康手帳を理解し、児に必要な健診や予防接種等を適切に受けられるよう今後も取組を継続する。
<p>長寿社会課</p> <p>在住外国人無年金者に対して、高齢者特別給付金を支給する。</p> <p>受給者 0人(対象者なし)</p>	—		生活の不安定な外国人無年金者に対して支援する。		

基本テーマⅡ 誰もが健康で安心して暮らせる社会づくり

重点目標1 支援を必要としている人に対する環境整備

基本施策	具体的な取組	令和4年度実施状況	評価	コロナの影響	評価の説明、今後の方向性等
12 ひとり親家庭への支援	<p>○母子父子自立支援員を配置し、ひとり親家庭の相談に応じる</p> <p>○ひとり親家庭の生活安定のため福祉資金の貸付を行う</p> <p>○ひとり親家庭の父母が資格を取得するための訓練期間、経済的負担軽減のため給付金を支給する</p> <p>○一時的に支援が必要なひとり親家庭に、家庭生活支援員を派遣し、家事・保育・介護等の支援を行う</p> <p>○母子生活支援施設を提供し、生活の自立に向け支援する</p> <p>○ひとり親世帯に市営住宅を優先的に提供する</p>	<p>【こども支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○母子父子自立支援員によるひとり親家庭の生活や就労の相談対応 R4年度相談受付件数 1,138件(うち 就労相談371件) ○母子・父子寡婦福祉資金の貸付 ひとり親家庭の経済的な自立、生活の安定を図る R4年度相談件数 231件 申請件数 17件 【内訳】修学資金 3件 就学支度資金 7件 生活資金 4件 転宅資金 3件 ○高等職業訓練促進給付金事業 ひとり親家庭の父母が資格を取得する期間の経済的負担を軽減 ・R4年度受給者数(延べ) 9名(高等職業訓練促進継続支援給付金事業を含む) 【内訳】看護師養成課程(准看護師を含む) 7名 ・R4年度修了支援給付金受給者 3名 ○自立支援教育訓練給付金事業 ひとり親家庭の父母が資格を取得するために講座を受講し、終了した場合にその費用の一部を支給 ・令和4年度支給決定件数 1名(内訳:医療事務講座 医科コース 1件) ○ひとり親家庭等日常生活支援事業 県が米子市連合母子会に委託している事業であり、ひとり親家庭からの相談の際に申込方法や事業内容の説明を行った。 	A		ひとり親家庭の保護者が、就労・家事・育児の両立ができるよう、様々な情報提供等を行い、必要に応じて関係機関に繋ぐ等の支援を行うことができた。
		<p>【こども相談課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○母子生活支援施設への支援の委託 ・DV、児童虐待、経済的な困窮状態などの課題を抱え、支援を必要とする母子家庭に対して安全な居住環境を提供することにより、生活の安定を図り、母子の自立に向けての支援に努めた。 	B		<ul style="list-style-type: none"> ・母子生活支援施設の利用は、近年常時満室又は満室に近い状況であり、利用ニーズの高さが伺える。 満室の場合などは状況に応じて、引き続き近隣の母子生活支援施設において広域利用の入所調整をするなどの必要な支援を行っていきたい。 ・社会福祉法人みその児童福祉会に支援を委託することにより、精神的不安定さや経済的自立の目途が立たないといった課題を抱えている利用者に寄り添い、利用者のニーズに対応した相談・支援の充実を図ることができた。
		<p>【住宅政策課】</p> <p>ひとり親世帯が優先入居できるよう市営住宅の中から特定住居を指定し、供給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度実施 7戸 	B		ひとり親世帯の生活の安定を図ることができた。

基本テーマⅡ 誰もが健康で安心して暮らせる社会づくり
重点目標2 男女間のあらゆる暴力の根絶

基本施策	具体的な取組	令和4年度実施状況	評価	コロナの影響	評価の説明、今後の方向性等
13 DV被害者への支援及び防止啓発	<p>○市の相談窓口で専門の婦人相談員を配置し、関係機関と連携して被害者支援に努める</p> <p>○被害者家庭に対して住宅支援、健康保険に関する支援、子どもの就学支援を行う</p> <p>○DVに関する講座等の開催等や男女の人権尊重に関する意識啓発を行う</p> <p>また県と連携して、若い世代に対する予防教育・啓発に努める</p> <p>○関係機関が開催する各種研修会等へ参加し、情報交換等を行う</p> <p>○DV加害者に対して相談窓口の紹介等を行う</p>	<p>【こども相談課】</p> <p>○相談・支援</p> <p>R4年度女性相談件数・・・694件(延べ1,229うちDV被害者からの相談199件)</p> <p>・専任の女性相談員2名を配置</p> <p>DV被害者の早期発見・支援及び児童虐待の早期発見・防止を図った。</p> <p>・DV被害者の同伴児童に対し、就学支援を行った。</p> <p>○DV予防教育・啓発</p> <p>・児童自立支援施設におけるデートDV予防学習の実施 3回</p> <p>女性相談員が鳥取県DV予防啓発支援員として実施</p> <p>・DV防止・啓発ポスター、チラシの設置(窓口)</p> <p>・相談窓口の案内掲示(庁舎女子トイレ個室)</p> <p>○研修会・連絡会への参加・情報交換</p> <p>・鳥取県等が主催する各種研修会・連絡会等へ女性相談員等が参加し、関係機関との情報交換を行なった。 R4年度研修会・連絡会参加回数 12回</p>	B	○	<p>・年々多様化、複雑化する中で、関係機関や関係部署と連携をとりながら対応することができている。</p> <p>・今後も研修会や連絡会に参加することにより、相談員のスキルアップに努め、関係機関等に対し、引き続きDVの予防啓発を進める必要がある。</p>
		<p>【住宅政策課】</p> <p>○市営住宅についてDV被害者を単身入居可能とした。</p> <p>保護施設等が行う保護の終了又は裁判所が命令する危険防止措置の終了後、5年を経過しない場合</p> <p>○市営住宅のDV被害者優先入居制度</p> <p>一定の優先枠を設けている</p> <p>・令和4年度実施 申込みなし</p>	B		<p>今後も被害者家庭に対する住宅支援を行う。</p>
		<p>【保険年金課】</p> <p>【令和4年度担当課:保険課】</p> <p>○DV被害者が加害者の社会保険等の被扶養者となっている場合に、「医療費のお知らせ」等から受診医療機関を通じて避難先が加害者に知られてしまうことがある。そのため、住民登録(住所異動)をしないで米子市に転入(市内転居も含む)してきた被害者家族に対して、国民健康保険の保険証を交付。</p> <p>令和4年度は1世帯2名に保険証を交付</p>	A		<p>国民健康保険の保険証を交付することで、病気になった際の保険給付を行い、被害者家族に対する支援を行うことができた。</p>
		<p>【学校教育課】</p> <p>○DV被害により、本市に転入してきた子どもの円滑な就学を支援した。</p> <p>○学校におけるDV被害家庭、児童虐待等の発見</p> <p>・学校における通告、受付体制の整備</p> <p>・教職員の意識啓発(研修会等での啓発)</p>	A		<p>関係諸機関と連携を図りながら、適切に対処することができた。</p>

基本テーマⅡ 誰もが健康で安心して暮らせる社会づくり

重点目標2 男女間のあらゆる暴力の根絶

基本施策	具体的な取組	令和4年度実施状況	評価	コロナの影響	評価の説明、今後の方向性等
13 DV被害者への支援及び防止啓発	<p>○DVに関する講座等の開催等や男女の人権尊重に関する市民意識啓発を行う</p> <p>○関係機関が開催する各種研修会等へ参加し、情報交換等を行う</p> <p>○DV加害者に対して相談窓口の紹介等を行う</p>	<p>【男女共同参画推進課】</p> <p>○「女性に対する暴力をなくす運動」(11月12日～25日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内各所をパープルライトアップ 毎日点灯 米子市駅前米っ子合掌像(18時から23時まで点灯) 期間中随時点灯 男女共同参画センター“かぶりあ”、人権情報センター、米子市公会堂、中央隣保館、前田隣保館、下福万隣保館、米子コンベンションセンター、米子市文化ホール、本庁舎東側玄関、米子市立図書館(初) ・パネル展示 鳥取県西部福祉保健局・県クローバーとつとりと合同開催 ・DVチェックリストの設置 ・パネル展とかぶりあに配置した <p>○女性に対する暴力の相談窓口の情報の周知 米子市役所・米子市男女共同参画センターに周知用カード配置 国の相談電話案内が記載されたシールを庁舎トイレに貼り(新規) 周知</p> <p>○相談窓口の紹介等 男性からの相談:鳥取県男女共同参画センター「よりん彩相談室」 DV加害者からの相談:米子市のこども相談課または県のDV加害者相談窓口</p> <p>【人権政策課】</p> <p>○人権教育地域懇談会でDVをテーマとして取り扱った回数(講演) 2回 参加者数50名</p> <p>○人権情報センターに相談窓口の周知用カード等を設置</p> <p>○人権情報センター・隣保館が施設のパープルライトアップに参加</p>	A		<p>DV被害者などの支援体制の充実と暴力のない社会に向けた啓発について、継続してパープルライトアップ及びパネル展など実施し、性暴力・性被害についての現状や理解を深めるための講座等を他機関等と連携して行うなど、啓発や相談機関の周知に努める。</p> <p>DV加害者からの相談については、今後も相談があれば相談窓口繋げるなどの対応を行う。</p>
14 職場等におけるハラスメント対策	<p>○ハラスメントの防止を啓発し、一般や市職員に対して研修会等を開催する</p> <p>○鳥取労働局等の相談窓口や相談会開催等の情報提供等を行う</p> <p>○関係機関主催の研修会等への参加、情報提供等を行う</p>	<p>【職員課】</p> <p>○ハラスメント防止研修を実施し、正しい知識と理解を深めること、職場におけるハラスメント対応法を学ぶとともに、ハラスメントのない働きやすい職場づくりを実現するための役割について学んだ。</p> <p>研修実績 受講者数 88名</p> <p>○鳥取県市町村職員共済組合主催のオンライン研修に参加した。 受講者数 8名</p> <p>【男女共同参画推進課】</p> <p>○労働関係機関による労働相談会等のチラシ等を米子市男女共同参画センターに配置</p> <p>【経済戦略課】</p> <p>労働局等の相談窓口や相談会のパンフレットを設置。 相談会の情報を広報よなごに掲載。</p>	B	○	<p>毎年ハラスメント防止研修等を実施することで、ハラスメントについての正しい知識の習得や、ハラスメント防止のための管理監督者の役割などの意識・理解は深まってきている。今後も継続的に実施していく。</p> <p>チラシ等を配置することにより、ハラスメントに対する相談窓口やハラスメントの防止を啓発することができた。引き続き関係機関からの依頼等に対応していく。</p> <p>関係機関の依頼に対応しており、過不足なく啓発できていると判断できる。 引き続き関係機関からの依頼等に対応していく。</p>

基本テーマⅡ 誰もが健康で安心して暮らせる社会づくり

重点目標3 生涯にわたる男女の健康支援

基本施策	具体的な取組	令和4年度実施状況	評価	コロナの影響	評価の説明、今後の方向性等
15 健康の保持増進に関する支援		<p>【男女共同参画推進課】</p> <p>○かぶりあだよりで女性の健康に関する相談・支援サービスについて紹介した。</p> <p>○女性の健康問題「更年期」セミナー（県企画）の情報提供</p> <p>○かぶりあ祭で米子市男女共同参画センター登録団体の「公益社団法人鳥取県栄養士会西部事業部」パネル展示を行った。</p>	B		<p>鳥取県栄養士会がかぶりあでパネル展示を行い健康に関する事を周知することが出来た。米子市男女共同参画センター登録団体による展示を行い、健康に関する啓発を行うとともに、団体の活動を広く周知することができた。関係団体の講座や、かぶりあだよりなどでも啓発に努めていく。</p>
		<p>【生涯学習課】⇒【地域振興課】</p> <p>○健康に関する社会教育講座の実施 公民館 29公民館で116講座実施</p>	B	○	<p>健康に関する講座は地域住民の関心が高く、フレイル予防の啓発も行われたことにより、全ての公民館で講座等を実施した。地域のニーズに応じて、今後も健康の保持増進に関する啓発に努める。</p>
		<p>【健康対策課】</p> <p>○若年層や働き世代やはインターネット環境が整っており、困りごと等は主にインターネット検索される方が多いため、若年層・働き世代に向けて本市のホームページを充実させ自死対策の啓発や相談窓口の情報提供を実施した。また、ゲートキーパーについて周知するためYouTube動画を作成したり、地区組織の養成講座参加者に向けてゲートキーパー研修を行った</p>	B		<p>相談者から「インターネットを見て電話を行った」という声もあり、広報に一定の効果があったと思料される。引き続き啓発を行う。</p>
	<p>○健康に関する各種講座、健康づくり教室などを開催し、健康に関する啓発に努める</p> <p>○メンタルヘルス研修の開催、関係機関主催の研修会への参加や情報提供等を行う</p> <p>○自死予防研修を開催するなどこころの健康に関する啓発を行う</p>	<p>【人権政策課】</p> <p>○人権教育地域懇談会で病気に関するテーマを取り扱った回数 4回 参加者数62名</p> <p>○隣保館において健康に関する講座、勉強会、教室等を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康教室（中央隣保館） 講師：錦海リハビリテーション病院理学療法士 ・「笑って笑って健康教室」、「いきいき健康教室」、「語らいや」、「なんでも健康相談」、ヨガ教室、健康体操教室、調理講習会（前田隣保館） 講師：理学療法士、保健師、管理栄養士、スポーツインストラクター、言語聴覚士ほか ・いきいき健康教室（前田隣保館） 講師：西部歯科医師会 他 ・「ほっ！カフェ」サロン、「なんでも健康相談」、調理講習会（下福万隣保館） 講師：理学療法士、作業療法士、保健師、管理栄養士、スポーツインストラクターほか 	B	○	<p>各種講座等の開催により、心身の健康に関して市民啓発を図った。人権教育地域懇談会で病気に関するDVDを視聴する等の啓発を行った。</p>
		<p>【職員課】</p> <p>○メンタルヘルス研修を実施し、セルフケアや傾聴などについて学び、心の健康を保ち、明るく活気に満ちた職場環境づくりを推進した。</p> <p style="text-align: right;">研修実績 受講者数 一般職員向け 47名 管理・監督職員向け 89名</p> <p>○鳥取県市町村職員共済組合主催のオンライン研修に参加した。</p> <p style="text-align: right;">受講者数 一般職員向け 9名 管理・監督職員向け 6名</p>	A		<p>メンタルヘルス対策については、従前から研修等に取り組んでおり、セルフケア、ラインケアの学習は進んでいる。研修では傾聴、アサーション、ハラスメント対策の視点も取り入れ、他者を尊重することや互いに健康に働くための考え方等について学んでいる。</p>

基本テーマⅡ 誰もが健康で安心して暮らせる社会づくり

重点目標3 生涯にわたる男女の健康支援

基本施策		具体的な取組	令和4年度実施状況	評価	コロナの影響	評価の説明、今後の方向性等
15	健康の保持増進に関する支援	○各種スポーツ教室・スポーツ大会等を開催し、生涯スポーツの振興に努める	【スポーツ振興課】 ○少年スポーツ教室の開催(8種目) 空手、剣道、柔道、陸上、ミニバスケット、体操、ラグビー、ハンドボール ○各種スポーツ大会の開催 小学生を対象とした大会(野球、市民レガッタ、バレーボール、ボッチャ、マラソン)、親子体力づくり大会、スポーツ少年団交流大会 体力テスト会(2回開催) 体力づくり歩け歩け大会(12回開催) ○米子市民体育祭の開催(7種目) ソフトボール、卓球、ソフトテニス、グラウンド・ゴルフ、野球 ゲートボール、バドミントン	B	○	少年スポーツ教室には多くの参加者があり、子供の頃からスポーツに親しむ習慣づくりの一助とすることができた。 また、各種スポーツ大会にも各年代の幅広い参加者があり、いずれの大会も健康保持、体力増進につなげることができた。 新型コロナウイルスの影響に伴い中止となった大会もあったが、今後も可能な限り開催していきたい。
16	妊娠・出産に関わる健康支援	○各種妊娠健康診査に助成を行い、健診率向上に努める ○マタニティスクールを開催し、妊婦とその家族に対して妊娠・育児指導を行う ○乳がん、子宮がん検診の重要性を啓発し、休日セットがん検診等により受診率向上を図る ○不妊治療に要した経費の一部を助成する ○成人式で新成人に子宮がんや性感染症等の予防啓発チラシを配布する ○妊娠・出産に関する女性の健康支援についての各種講座の開催や関係機関主催の研修会等への参加、また妊娠・出産・性などに関する体と健康については本人に選択・決定権があることを啓発する	【健康対策課】⇒【こども相談課】 ○妊婦健康診査・産後健康診査の助成を行った。 妊婦健康診査助成 実績件数:74件 産後健康診査助成 実績件数:77件 ○マタニティ&ベビー相談や母子健康手帳交付時に妊婦とその家族に対して、妊娠育児相談・指導を行った。	A		母子健康手帳交付時に、個室で時間をとって説明した。また、妊婦や家族ごとのニーズを把握し、個別性のある相談支援・指導を行った。
			【健康対策課】 ○休日セットがん検診(乳がん、子宮がん)を10月、11月に実施。 乳がん検診受診率:27.4%、子宮頸がん検診受診率:32.6% ○乳がん・子宮がん検診の啓発として、婚姻届出時や乳幼児健診時に啓発チラシを配布。 ○不妊治療費について、鳥取県の交付決定に上乗せして本市の助成を実施した。 特定不妊治療 88件 人工授精 46件 ○不育治療費等について、本市の助成を実施した。(1件) ○「20歳の集い」において、子宮がん及び性感染症等の予防啓発チラシを配布。	B	○	がん検診受診率は、新型コロナウイルス感染症の流行以降、伸び悩んでいるため、引き続き受診勧奨の強化を行う必要がある。
			【男女共同参画推進課】 ○かぶりあ祭で「米子市男女共同参画センターかぶりあ登録団体パネル展示」における啓発 米子市男女共同参画センターの登録団体である「芽芽の会」が女性の健康支援についてのパネル展示	B		妊娠・出産に関する健康支援を行っている団体の活動の周知と啓発を行うことができた。

基本テーマⅡ 誰もが健康で安心して暮らせる社会づくり

重点目標3 生涯にわたる男女の健康支援

基本施策	具体的な取組	令和4年度実施状況	評価	コロナの影響	評価の説明、今後の方向性等
17 学校教育における健康学習	<p>○学校において、命と体を大切にす 観点での健康教育の充実を図り、そ れらの教育活動を公開することによ り、健康や性教育に対する関心を高 め、よりよい教育体制をつくる</p> <p>○生活習慣病、性感染症等の病気予 防や薬物乱用防止に関する学習や取 組を行う</p> <p>○学校での子どもたちの心の健康に ついての相談体制の充実を図る</p> <p>○子どもたちに学校給食を通した食に 関する指導を行い、また保護者に対 して食育についての啓発を行う</p>	<p>【学校教育課】</p> <p>○命と体の学習の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命と体を大切にすることの学習/34校 ・関係機関と連携した喫煙、飲酒、薬物乱用防止、性に関する指導 ・健康教育参観日(性教育参観日を含む)の実施 ・学校への医師、看護師等の協力/小10校 中5校 <p>○心の健康に関する校内相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーの配置/中学校区単位で全校区に配置 ・学校生活適応支援員(非常勤職員)の配置/小5校 ・他機関(病院、児童相談所等)と連携した健康相談の実施 	A		<p>様々な分野の外部講師を招いて、より専門的 で実感を伴った学習活動の充実を図ることが できた。</p> <p>学校での、児童・生徒に対する相談支援体制 の充実を図ることができた。</p>
		<p>【学校給食課】</p> <p>○児童・生徒対象</p> <p>栄養教諭・学校栄養職員等が学校給食を通した食に関する指導や食育の指導等を実施</p> <p>内容:食事のマナー、歯と口の衛生、よく噛んで食べる、 好き嫌いを解決、等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食時間に行う学級訪問(小学校302クラス、中学校133クラス) 令和4年度 延べ1,465回 令和3年度 延べ 963回 令和2年度 延べ1,252回 <ul style="list-style-type: none"> ・授業への参画:チームティーチング(家庭科・保健体育・学級活動等) 令和4年度 252回 令和3年度 215回 令和2年度 241回 <p>○保護者対象 食育に関する講演会の開催</p> <p>講師:栄養教諭・学校栄養職員</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度 3回 令和3年度 2回 令和2年度 2回 	B	○	<p>学校給食を通じての食育指導により、児童・生 徒は健全な食生活や食習慣を身につけること ができた。</p>

基本テーマⅢ あらゆる分野における男女共同参画の推進

重点目標1 家庭における男女共同参画の推進

基本施策		具体的な取組	令和4年度実施状況	評価	コロナの影響	評価の説明、今後の方向性等
18	家事・育児への男性の参画推進	<p>○公民館等で男性が参加できる料理教室等を開催する</p> <p>○マタニティスクールに男性の参加を促し、父親にも育児体験をしてもらう機会をつくる</p> <p>○父親も子どもの誕生や育ちに関心を持てるよう、妊娠届出時に母子健康手帳と併せて、父親用の記録帳も交付する</p> <p>○男性の家事・育児参画に関する講座等の開催、関係機関主催の研修会等への参加促進、情報提供等を行う</p>	<p>【生涯学習課】⇒【地域振興課】</p> <p>○公民館においての活動で「男の料理教室」等を行っている。</p> <p>「男の料理教室(学習講座)」1講座</p> <p>「男の料理教室(サークル活動)」8講座</p> <p>「そば打ち同好会(サークル活動)」8講座</p>	B	○	引き続き男性が参加できる料理教室やサークルの活動支援を行っていくとともに、地域のニーズに応じて、男女問わず参加できる料理講座等を実施していく。
			<p>【健康対策課】⇒【こども相談課】</p> <p>○マタニティ&ベビー相談で、父親の参加も勧め、一緒に沐浴指導などの育児体験・相談を行った。</p> <p>○妊娠届出時に、父親の育児参加を啓発するチラシを配布した。</p>	A		個別で父親の育児体験・相談を実施することで、一人一人に時間を確保し、支援することができた。
			<p>【男女共同参画推進課】</p> <p>○県主催の家事シェアセミナーの情報提供を行った。</p> <p>・「家族みんなのアイデア時短家事講座」</p> <p>・「鳥取の旬魚をみんなで簡単料理」</p>	B		料理をはじめ男性の家事・育児等への参加を拡大することが目的。今後も引き続き効果的な啓発を実施していく。
19	子育て支子育て支援、保育サービスの充実、保育サービスの充実	<p>○各種子育て教室や乳幼児相談を開催し、乳幼児の保健指導、育児相談を行う</p> <p>○乳幼児のいる家庭に保健師等が家庭訪問し、乳幼児の健康状態の確認や育児相談を受ける</p> <p>○地域子育て支援センターを運営し、子育て相談、講習会、情報交換等を行い、また子育てサークルの活動を支援する</p> <p>○乳幼児のいる家庭を対象に子育て・親育ち講座を開催する</p>	<p>【健康対策課】⇒【こども相談課】</p> <p>○赤ちゃんすくすく相談、マタニティ&ベビー相談、乳幼児健診等の場で、育児相談・指導を行った。</p> <p>○乳児家庭全戸訪問事業(赤ちゃん訪問)及び養育支援訪問を行い、乳幼児及び家族の健康状態の確認、育児相談・指導を行った。赤ちゃん訪問人数1158人。</p>	A		新型コロナウイルス感染症の影響で赤ちゃんすくすく相談等集団に出ることを躊躇されたり、訪問を拒否される方もあった。不安や困りごと等のあるご家庭については継続支援を行った。
			<p>【こども相談課】</p> <p>○子育て支援センターを7箇所を実施</p> <p>・広報等により支援センターの周知を図り、利用者の増加に努めた</p> <p>・月1回の子育て講座の実施や子育てサークルの支援、育児についての相談・情報提供を行うとともに、親の孤独感や不安感の緩和に努めた。</p>	B	○	・地域の子育て家庭の支援に努めるとともに、新型コロナウイルス感染予防のため設けていた利用制限について緩和し、より利用しやすい施設運営に努める。
			<p>【こども相談課】⇒【こども政策課】</p> <p>○乳幼児のいる家庭を対象にした子育て・親育ち講座の開催</p> <p>・乳幼児期の子育てに必要な情報提供や親同士の情報交換等、子育て支援を目的とした講座(タムタムスクール)を開催した。</p> <p>・前期(5月～6月)に6回、後期(9月～11月)に5回、計11回の講座を行い、延べ272名(うち子どもは137名)の参加があった。</p>	B	○	コロナ禍で講座1回当たりの受け入れ人数を制限したため、参加人数はコロナ前と比べて少なくなった。しかしながら、参加者の評価は高く、男女問わず家族が一丸となって家庭教育を行うこと重要性等を伝えることができた。男性の参加が少ないため、参加しやすい工夫を引き続き検討する必要がある。

基本テーマⅢ あらゆる分野における男女共同参画の推進

重点目標1 家庭における男女共同参画の推進

基本施策		具体的な取組	令和4年度実施状況	評価	コロナの影響	評価の説明、今後の方向性等
19	子育て支子育て支援、保育サービスの充実、保育サービスの充実	<p>○ファミリー・サポート・センターでは地域で育児を助け合う体制をつくる</p> <p>○保育所等での延長保育、休日保育等の拡充に努める</p> <p>○全小学校でなかよし学級を運営し、民間施設も含めた設備・体制等の環境整備に努める</p>	<p>【こども支援課】</p> <p>○ファミリー・サポート・センター事業を継続して実施。 広報よなご、子育て支援センターでの説明会等により事業の周知を図り、会員数や活動件数の増加に努めた。 令和4年度活動件数…2,278件 (3年度 2,203件) 令和4年度末会員数…1,097人 (3年度 1,093人)</p> <p>○特別保育の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延長保育…60か所で実施 ・休日保育…2か所で実施 ・病児・病後児保育…3か所で実施 <p>○学童保育…市内23全小学校に「なかよし学級」を設置 ・公設以外の民間放課後児童クラブへの助成…30クラブ</p>	B		<p>保育施設等及び民間の学童保育等の充実により、ファミリー・サポート・センターの利用が減少傾向である。提供会員の増加が課題である。</p> <p>ボランティアセンターや文化・体育の各種教室で提供会員養成講座の案内をする等、より効果的な周知の方法を検討していきたい。</p>
			<p>【こども施設課】</p> <p>○学童保育…市内23全小学校に「なかよし学級」を設置 ・公設以外の民間放課後児童クラブへの助成…33クラブ</p>	B	<p>民間の学童保育の充実等により、引き続き、放課後の子どもの居場所づくりについて、環境整備に努めていく。</p>	

基本テーマⅢ あらゆる分野における男女共同参画の推進

重点目標2 職場における男女共同参画の推進

基本施策	具体的な取組	令和4年度実施状況	評価	コロナの影響	評価の説明、今後の方向性等
20 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進	<p>○ワーク・ライフ・バランスに関する講座等の開催、関係機関主催の研修会等への参加、情報提供等を行う</p> <p>○市内の企業・事業所および市役所内において、ワーク・ライフ・バランスに関する意識啓発を図る</p> <p>○関係機関と連携し、労働に関する相談会等の周知、情報提供等を行う</p>	<p>【男女共同参画推進課】</p> <p>○ワーク・ライフ・バランス講座 テーマ 「好きな事で稼ぐ」 ～多様な働き方で豊かな暮らし～ 副業・複業・起業のすすめ 講師 つのだ さちこ さん (Schubbladeシュプラーデ 代表) 長田 朱里 さん(株式会社デブウォームズ 代表取締役)</p> <p>米子市男女共同参画センターの登録団体などに情報提供</p> <p>○労働関係機関による労働相談会やワーク・ライフ・バランスの啓発に関するチラシ等を米子市男女共同参画センターに配置、情報提供を行った。</p>	B		<p>講座の中で市内で起業している方々の(自分らしい働き方)等の事例を紹介してもらい、各々のヒントをつかんでもらった。また、ハイブリット方式で開催することで、参加しやすい、時間を有効に使いたい方などのワーク・ライフ・バランスの効果はあったと思われる。</p> <p>チラシ等の配置により、ワーク・ライフ・バランスに関する意識啓発、情報提供を図ることができた。</p>
		<p>【人権政策課】</p> <p>○人権情報センターに、ワーク・ライフ・バランスに関する啓発ビデオを配置し貸出</p> <p>○米子市人権問題企業連絡会を組織し、様々な人権課題に関する研修等を行ない、社員の意識啓発を図った。</p> <p>○希望する企業等に人権教育推進員を派遣 延べ4回</p>	B	○	<p>市内の企業・事業所に対して、ワーク・ライフ・バランスに関する啓発を図った。</p> <p>企業研修が新型コロナの影響で中止となり、人権教育推進員の派遣が減少している。</p>
		<p>【職員課】</p> <p>☆職員からの申出による勤務時間の割振り変更についての条例化 本人からの申出による割振り変更について、令和3年から基準を設けて運用していたが、令和5年3月に条例及び規則の改正を行った。</p> <p>※ 本人からの申出による割振り変更 7時 ～ 18時45分 の間で公務の運営に支障がない限り、本人の事前申請によって一日の勤務時間(7時間45分)を割振ることができる制度</p>	A		<p>申出による割振り変更及び休憩時間の柔軟な運用について、例規に明記することで、ワークライフバランスに関する意識啓発を強化する契機とすることができた。</p> <p>引き続きワークライフバランスに関する意識啓発を図るための周知を行っていく。</p>
		<p>【経済戦略課】</p> <p>関係機関が実施する労働相談会チラシやパンフレットを設置</p>	B		<p>関係機関の依頼に対応しており、過不足なく啓発できていると判断できる。</p> <p>引き続き関係機関からの依頼等に対応していく。</p>

基本テーマⅢ あらゆる分野における男女共同参画の推進

重点目標2 職場における男女共同参画の推進

基本施策		具体的な取組	令和4年度実施状況	評価	コロナの影響	評価の説明、今後の方向性等
21	男性の育児休業取得促進	<p>○育児・介護休業法や育児休業取得促進に関するリーフレット等の設置、情報提供等を行う</p> <p>○男性の育児休業取得に関する各種助成制度の周知・啓発を行う</p> <p>○育児休業を取得した男性を講師とした講座等の開催、関係機関主催の研修会等への参加、情報提供等を行う</p> <p>○市男性職員の育児休業取得率向上を目指し対象職員、所属長に対し働きかけを行うとともに、育児啓発紙発行等により啓発を行う</p>	<p>【男女共同参画推進課】</p> <p>○鳥取県が主催したイクボス・ファミボスを実践していくためのセミナーに関する情報提供を行った。</p> <p>○かぶりあだよりで、男性育休の取得を促進する制度「産後パパ育休」を取り上げ周知した。</p>	B		イクボス・ファミボス、育休制度に関する情報提供を図ることができた。今後は効果的な発信方法を考えていく。
			<p>【職員課】</p> <p>・次世代育成支援のための休暇制度の周知 男性が育児等で取得できる休暇について説明を行う</p> <p>・妻が出産した男性職員に対し、「妻の出産休暇」及び「子の養育休暇」について制度の説明を行うとともに、育児休業制度、部分休業制度の説明を行う。</p> <p>※育児休業取得者数 令和4年度 16名中8名</p>	B	令和2年度に策定した第4次特定事業主行動計画において、計画に掲げる各行動を推進するとともに、仕事と子育ての両立を図ることができる職場の雰囲気醸成を啓発した。 男性の育児休業については、今後も引き続き啓発に努めるとともに、育児休業取得対象となる男性職員へ個別の働きかけを行い、職員が積極的に育児休業を取得できるよう取り組みたい。	
22	女性の経営参画推進及び起業・再就職支援	<p>○農家の家族経営協定に関する情報提供を行い、関係機関と連携して締結の促進を図る</p> <p>○農産物等の加工・直売活動をしている女性グループ等に対する活動支援を行う</p> <p>○商業等の自営業者に男女共同参画推進について啓発、情報提供を行う</p> <p>○女性の起業や再就職を支援する</p> <p>○女性の起業、再就職、職業訓練、人材育成等に関する情報提供等を行う</p>	<p>【農林課】</p> <p>○家族協定の締結 1件</p> <p>○農産物加工、直売活動をしている女性グループへの支援は予算化したが応募無し</p>	B		家族経営協定の締結が1件あった。 今後とも各関係機関と連携して家族経営協定及び女性自主参画事業の更なる促進を図る。 令和5年度以降農産物加工、直売活動をしている女性グループへの支援は行わない。
			<p>【経済戦略課】</p> <p>○関係機関が実施する再就職・職業訓練・人材育成等に関するチラシを設置し啓発</p> <p>○スキルアップ補助金 助成対象人数 135人(男女合計) 助成額 2,044千円 教育訓練講座等の受講にかかる経費を助成することにより、社会人のスキルアップ・再就職を支援する。</p>	A		チラシについては、関係機関の依頼に対応しており、過不足なく啓発できている。 引き続き、関係機関からの依頼等に対応していく。 スキルアップ補助金については、想定以上の申請があった。引き続き、社会人のスキルアップ及び再就職を支援していく。
			<p>【男女共同参画推進課】</p> <p>○女性の専門職資格取得助成事業補助金 ・子育て中の女性に対して、再就職等に役立つ専門職資格の取得に係る費用の一部を助成 助成対象人数 29人 助成額 795千円</p> <p>・制度の周知 広報よなご、ホームページに掲載 チラシ配布(訓練校・こども総本部・ハローワーク・鳥取県立産業人材センター・市有施設等)</p> <p>○女性の起業に関する講座開催 ワークライフバランス講座で、副業・複業・起業に興味があるが、なかなか踏み出せない方などに、自らしい働きかたを実現する方法などの講座を開催した。</p> <p>○ワーク・ライフ・バランス講座 テーマ 「好きな事で稼ぐ」 ～多様な働き方で豊かな暮らし～ 副業・複業・起業のすすめ 講師 つのだ さちこ さん (Schubbladeシュブラーデ 代表)</p>	A		資格取得に係る費用の一部を助成することで、子育て中の女性の再就職等を支援することができた。今年度はチラシの配布先の開拓や、デザインの変更などに取組み、今後も事業を継続し、子育て中の女性を応援していきたい。 これからの働き方について自身で起業し頑張っておられる方の事例を聞くことができ、とても参考になったなど好評だった。今後も様々な方法で女性の起業や働き方について考える講座を開催したい。

基本テーマⅢ あらゆる分野における男女共同参画の推進
 重点目標3 地域における男女共同参画の推進

基本施策	具体的な取組	令和4年度実施状況	評価	コロナの影響	評価の説明、今後の方向性等
23 地域活動・まちづくり等における参画	○米子市自治連合会と連携・協力し、地域のまちづくりを推進するとともに、自治会加入率を高めるための啓発を行う ○地域の多くの人々が様々なまちづくり活動に積極的に取り組めるように、活動経費の一部を助成する ○環境問題等の社会問題解決に向けた地域活動に、男女が参加・協力して環境問題に関する啓発、情報発信を行う ○子どもたちが地域社会や環境問題等について学ぶ学習活動の場を提供する	【地域振興課】 ○男女共同参画と自治会運営に関する項目を載せた「自治会加入促進の手引き」を自治会長に配布して意識啓発を促した。 ○男女共同参画課と米子市自治連合会の共催でこれからの地域づくりに必要なテーマである「多様な人材が参画できる地域づくり」の研修会を開催。	B	○	自治会活動において、男女共同参画推進の効果が期待される。
		【まちづくり企画課】 ○米子市まちづくり活動支援交付金事業の実施 市民の自主的なまちづくり活動を支援するために、9団体に対して支援を行った。	A		活動を支援した団体の多くが、男女ともにまちづくり活動に参画している団体であり、まちづくり活動における男女共同参画の一助になったと考えられる。 今後も、まちづくり活動支援交付金事業を推進し、男女問わず積極的にまちづくり活動を行うきっかけとすることで、まちづくりにおける男女共同参画の推進を図る。
		【環境政策課】 6月12日に、中海・宍道湖一斉清掃を実施し、ラムサール条約の趣旨である「環境の保全」と「賢明な利用(ワイズユース)」に対する地域住民の意識の高揚を図った。新型コロナウイルス感染症対策として、前半・後半の2部に分けて実施した。 会場：湊山公園親水護岸 参加人数：1069人	A		環境に関する主催イベントについて、年齢、性別を問わず多くの住民の参加があり、環境保全意識の普及啓発につなげることができた。
		【クリーン推進課】 ○自治会からリサイクル推進員として、地域でのごみ減量、分別等について啓発・指導活動に協力をいただいた。女性の推進員は全体の約21%となっている。 リサイクル推進員 655人(男性517人 女性138人) リサイクル推進員補助者 103人(男性79人 女性24人)	B	○	推進員の交代があったが、女性の占める割合は前年より若干増加した。男女協力して地域の環境啓発を行うことができ、今後も、現在の取組を継続していきたい。

基本テーマⅢ あらゆる分野における男女共同参画の推進
重点目標3 地域における男女共同参画の推進

基本施策	具体的な取組	令和4年度実施状況	評価	コロナの影響	評価の説明、今後の方向性等
24 防災・復興分野における参画	<p>○米子市地域防災計画、避難所運営マニュアル等に男女共同参画の視点を盛り込む</p> <p>○地区の自主防災組織を育成・支援し、女性の積極的な参画を促進する</p> <p>○消防団への女性の参加を促進し、活動を支援する</p> <p>○女性、乳幼児、高齢者等様々な視点での必要物資を備蓄する</p> <p>○防災分野への女性の参画の必要性を啓発し、また関係機関主催の研修会等への参加、情報提供等を行う</p>	<p>【防災安全課】</p> <p>○公民館単位、自治会単位で開催された防災説明会等で、自主防災組織の重要性や、防災分野への女性の参画の必要性を啓発した。新型コロナの影響により、中止件数が5件程あり、前年度と比較し出前講座等の回数は減少した。令和4年度開催の説明会及び講演会 39回</p> <p>○米子市消防団女性分団による次の活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所、会社などにおける救急救命講習での講師、広報活動 ・米子市消防団救急救命訓練における講師 <p>○女性、乳幼児、高齢者等、様々な視点から見た備蓄品の現在の在庫の状況調査を実施し、期限切れや経年劣化の激しいものの交換を行った。</p> <p>【男女共同参画推進課】</p> <p>○内閣府等からの調査に基づき、地方公共団体における男女共同参画の視点からの防災・復興(災害時避難所運営)に係る取組状況について、米子市防災安全課と情報提供し情報共有を行った。</p> <p>○「男女共同参画の視点による災害対応研修」に米子市防災安全課とオンライン参加</p>	B	○	<p>令和4年度は、前年度からの新型コロナウイルス感染症の影響が残る中ではあったものの、市全体としては防災活動の取り組みに復調の傾向がみられた。</p> <p>消防団の女性参画については、女性消防団において事業所等で救急救命講習を実施し、併せて広報活動も行った。引き続き講習を開催して知識、技能の伝達に務めるとともに、広報活動を実施し団員確保に務めていく。</p> <p>地域での防災分野での女性の参画の必要性などの啓発に向けて、男女共同参画の視点による災害対応研修に参加し、知識習得に務めた。今後も防災関係部署等に情報提供し、情報を共有し、連携を図っていく。</p>